

アセンブリー 1月8日

17日間の冬季休業を終え、8日からの授業再開に先立って、アセンブリーを実施しました。逢坂校長から、県木うばめがしの葉を四葉配して、「知・徳・体・志」を象徴した本校の校章を紹介し、「調和のとれた人格形成の確立を目指そう」と訓話がありました。

洞生指部長からは、高校生の単車の事故死を紹介し、「命を大切にしよう。」と呼びかけました。2限目からは、すっかり冷え込んだ教室で、熱い授業が展開されました。



生徒会執行部と懇談 1月21日

1月21日(月)、生徒総会要望懇談会を行いました。平成19年度生徒総会において、各クラスから提案された多くの要望の中から9つの要望を取り上げ、生徒会執行部が学校に提案することとなりました。その提案の場として、本懇談会が行われることになりました。懇談会には、校長、副校長、事務長、特活部長、そして、生徒会執行部の10人の生徒が集まり、意見交換が行われました。今後、生徒会ではこの会で、自分たちの提案に対して、校長、副会長、事務長から受けた回答をまとめ、全校生徒に報告していく予定です。



2年次生修学旅行 1月27日~30日



平成19年度の修学旅行は、集団生活を通して、友情と連帯を深める。スキー・スノーボードの技術習得を通して、体力を養い、運動力を高める。和歌山とは異なる気候・風土を学ぶ。ことを目的に1月27日(日)から30日(木)までの3泊4日の日程で実施しました。2年次生95名が参加しました。

【横手山；標高2307m】

【1日目】午前7時30分、予定通りに和歌山市民会館前を3台のバスに分乗して出発しました。途中渋滞もなく、午後5時に長野県志賀高原・熊ノ湯に到着しました。そこは、和歌山とは違って、一面の銀世界でした。明日からの講習に備えて、まずは腹ごしらえです。その食欲に、若さを感じました。



【バイキング形式での食事】

【2日目】待ちに待ったスキー・スノーボード講習の始まりです。雲一つ無い晴天です。しかし、気温は、マイナス17℃、和歌山の寒さとは桁違いです。



ホテル前でクラスごとの記念写真を撮影し、ゲレンデに向かいました。ゲレンデでの開校式のあと、15の班に分かれ、2日間お世話になるインストラクターが紹介されました。インストラクターに誘導され、横手山スキー場に各班が散らばり講習が始まりました。昼食は、ホテルで、インストラクターと一緒に食べました。午後3時30分に、1日目の講習を終えましたが、



【ホテル前でのクラス写真撮影】

【開校式；インストラクターの紹介】 その後もフリー滑走に出かける元気な生徒もいました。

【3日目】昨日とは違って、あいにくの雪です。身体のおちこちに、痛みを感じながら2日目の講習に出発しました。転ぶ回数も減り、滑る楽しみを味わいつつ、2日目の講習を無事終えました。ゲレンデで、閉校式を行い修了書を頂きました。夜には、生徒とインストラクター合同の松明滑走がありました。スキーが初めての生徒11人が、松明を掲げながら、夜のゲレンデを滑走する姿に、感激しました。そのあと、花火が打ち上げられました。冬の花火に照らされたゲレンデは幻想的でした。



【大自然をバックに、レッスンが行われました】

【4日目】2日間の講習を終えて、8時にホテルを出発し、和歌山に向かいました。途中恵那峡で昼食をとり、午後6時に市民会館前に到着しました。全員けがもなく、楽しい思い出をおみやげに、家路につきました。

2月の主な行事予定

13日(水) マラソン大会

19日(火) 前期選抜学力検査

29日 卒業式予行

